

《養成講座の内容》

- ※ 養成講座は、講義と実習から構成されています。
- ※ 講義は原則として、A・Bコース合同で土曜日の午後に行っています。
- ※ 講義の内容・講師・時期は2017年度の実施例です。
- ※ ◆印は、A・Bコースに分かれての研修で、各課程の実習は月2回程度あります。

原則として月3回、下記の2コースを予定しています。

Aコース：土曜日午前のコース 10:00～12:00

Bコース：土曜日午後のコース 14:00～16:00

注) 応募者の状況によってコース・時間が変更(2時間半)になる場合もあります。

1年目『電話相談の基礎を学ぶ』

第1課程

6月～9月

- ◆実習(ねらい)
自分を知り他者を知る
- 主な講義
- ・いのちの電話の相談員になること
杉江 征(筑波大学)
- ・養成講座の学び方
半田一郎(臨床心理士)
- ・いのちの電話とボランティア
茨城いのちの電話研修スタッフ
- ・家族
三輪壽二(茨城大学)

第2課程

10月～1月

- ◆実習(ねらい)
聴き方のトレーニング
- ★宿泊研修(2泊3日)
—互いを知り深める—
10月の連休 **必修**
- 主な講義
- ・宿泊研修を終えて
半田一郎
(臨床心理士)
- ・精神障害
堀 孝文
(県立こころの医療センター)
- ・自殺と危機介入
大滝 優(筑波大学)

第3課程

2月～5月

- ◆実習(ねらい)
電話相談の対応について学ぶ
- 主な講義
- ・思春期
伊藤晋二(常磐大学)
- ・中高年齢のころ
中込四郎(国士舘大学)
- ・聴くということ
杉江 征(筑波大学)
- ・進級式

2年目『電話相談の実際を学ぶ』

第4課程

6月～10月

- ◆電話相談実習・ふり返り
- 主な講義
- ・精神障害者への理解と対応
大久保文代
(地域活動支援センター)
- ・性の電話への理解と対応
茨城いのちの電話研修スタッフ

第5課程

11月～3月

- ◆電話相談実習・ふり返り
- 主な講義
- ・いのちの電話の理念と役割
半田一郎(臨床心理士)

認定

認定 各課程で出席状況や学習状況によっては次の課程に進めないこともあります。
認定の判断は、第5課程終了後総合的に評価して行われます。